

〈慣用句・ことわざ・
故事成語〉

氏名

問

次の①～⑥の文の（ ）に入るふさわしい言葉を、文のつながりや意味を考えてア～エから一つ選び、□の中に記号を書きなさい。

① この服は、普段着にしては動きにくいし、よそいきにしては少しだし
ないし、（ ）だ。

- ウ ア 住めば都 月とすつぽん
- 灯台下暗し 帯に短したすきに長し

② 弟にいくら忠告しても（ ）で、困ったものだ。

- ウ ア 花より団子 一寸先は闇
- 二階から目薬 エ 下手の横好き

③ 物事がうまくいかない場合でも、あわてず、（ ）ということもある。

- ウ ア 猫に小判 待てば海路の日和あり
- うそも方便 エ 焼け石に水

④ 祖父は（ ）ような性格のために、三十年間の会社勤めでこれとい
った失敗はしなかったという話だ。

- ウ ア えびで鯛を釣る 石橋をたたいて渡る
- 出るくいは打たれる エ 人のふんどしで相撲をとる

⑤ 何度も約束を破られたとあっては、穏やかな彼女もさすがに怒って当
然だ。まさに（ ）だ。

- ウ ア 仏の顔も三度 釈迦に説法
- 仏つくって魂入れず エ 知らぬが仏

⑥ 今回の大会は最初はよかったが、（ ）に終わり不本意な成績だった。

- ウ ア 画竜点睛 杞憂
- 竜頭蛇尾 エ 矛盾

〈慣用句・ことわざ・故事成語〉

解答

正答以外の言葉についても、意味を調べて用例を確認したり、短文を作ったりしてみよう。

問い

次の①～⑥の文の（ ）に入るふさわしい言葉を、文のつながりや意味を考えてア～エから一つ選び、□の中に記号を書きなさい。

① この服は、普段着にしては動きにくいし、よそいきにしては少しだし
ないし、（ ）だ。

- ア 住めば都
- イ 月とすっぽん
- ウ 灯台下暗し
- エ 帯に短したすきに長し

エ

② 弟にいくら忠告しても（ ）で、困ったものだ。

- ア 花より団子
- イ 一寸先は闇
- ウ 二階から目薬
- エ 下手の横好き

ウ

③ 物事がうまくいかない場合でも、あわてず、（ ）ということもある。

- ア 猫に小判
- イ 待てば海路の日和あり
- ウ うそも方便
- エ 焼け石に水

イ

④ 祖父は（ ）ような性格のために、三十年間の会社勤めでこれといった失敗はしなかったという話だ。

- ア えびで鯛を釣る
- イ 石橋をたたいて渡る
- ウ 出るくいは打たれる
- エ 人のふんどしで相撲をとる

イ

⑤ 何度も約束を破られたとあっては、穏やかな彼女もさすがに怒って当然だ。まさに（ ）だ。

- ア 仏の顔も三度
- イ 釈迦に説法
- ウ 仏つくって魂入れず
- エ 知らぬが仏

ア

⑥ 今回の大会は最初はよかったが、（ ）に終わり不本意な成績だった。

- ア 画竜点睛
- イ 杞憂
- ウ 竜頭蛇尾
- エ 矛盾

ウ

ウ